

大津市立幼稚園再編等検討委員会の 進捗報告について

令和8年7月30日（木）

第2回 大津市社会福祉審議会児童福祉専門分科会

1 大津市立幼稚園再編等検討委員会について

【開催状況について】

日時			内容
第1回	令和7年 5月23日（金）	9時30分～11時40分	諮問 大津市立幼稚園再編等計画の策定について
第2回	令和7年 7月11日（金）	10時00分～11時20分	適正規模、再編基準、地域の考え方などについて意見交換
第3回	令和7年 9月26日（金）	10時00分～12時00分	計画骨子（案）の内容について
第4回	令和7年10月27日（月）	14時30分～17時00分	第3回の続き
第5回	令和7年12月25日（木）	13時30分～16時05分	計画素案について 再編等の方向性について
第6回	令和8年 1月15日（木）	9時00分～11時00分	計画素案について 再編等の方向性について
第7回	令和8年 2月12日（木）	14時00分～16時00分	パブリックコメント（案）について
第8回	令和8年 6月4日（木）	9時30分～12時00分	パブリックコメントの結果報告
－	令和8年 6月25日（木）	14時30分～15時00分	答申

2 パブリックコメントの結果について

【意見の内容について】

寄せられた意見の内容を分類すると、大きく11種類に分けられる。 ※（）内の数字は意見の件数

- (1) 再編計画への反対と特定の幼稚園存続の要求 (91件)
 - ・・・ 園の特徴、再編基準、予算削減・効率化、人口推計・園児数推計、検討の目的、アンケート
- (2) 代替案としての「認定こども園化」と「魅力向上策」の提案 (136件)
 - ・・・ 認定こども園、預かり保育の拡大、給食、市外の施設に関すること
- (3) 通園の負担増大と安全性に対する意見 (56件)
 - ・・・ 通園支援
- (4) 少人数教育の価値を軽視しているという意見 (47件)
 - ・・・ 適正規模
- (5) 地域コミュニティや地域文化との関りが無くなってしまうという意見 (80件)
 - ・・・ 地域との関わり、幼小連携
- (6) 計画プロセスの不透明さと対話不足に対する意見 (59件)
 - ・・・ 検討経過、進め方
- (7) 特別な配慮を必要とする子どもに対する「セーフティネット」としての役割に関する意見 (21件)
- (8) 待機児童問題（全国ワースト）に対する意見 (23件)
- (9) 再編を前提とした強引な人事異動に対する意見 (8件)
- (10) 再編を容認する意見や迅速な実行を求める意見 (6件)
- (11) その他の意見 (58件)

2 パブリックコメントの結果について

【主な意見等】

結果一覧については、

【資料3】カテゴリー別の意見数及び主な意見内容と考え方及び

【資料4】大津市立幼稚園の再編等について（案）に対するパブリックコメントでの意見内容と検討委員会の考え方を参照。
※（）内の数字は意見の件数

（1）再編計画への反対と特定の幼稚園存続の要求（91件）

意見の概要	歴史や伝統があり、地域の核となっている園の存続を強く求める意見や、園児数や効率化のみを理由とした再編は、各園が持つ教育的価値や地域の心の拠り所としての役割を軽視しているとの意見が挙げられている。
考え方の概要	今回の検討は、本来幼稚園が「集団生活を営む場所」であり、集団規模の確保による子ども同士の関わりの中で社会的な態度を育む教育が実現できるよう、慎重に審議を重ね検討したものである。 また、効率化などを目的としたものではない。

（2）代替案としての「認定こども園化」と「魅力向上策」の提案（136件）

意見の概要	再編の前に、給食の全面実施や預かり保育の拡充により保護者のニーズに応え、園の魅力を向上させるべきだという意見や、待機児童対策として、既存施設を活用した「認定こども園」への移行を求める意見も挙げられている。
考え方の概要	給食の実施については、検討委員会の検討範囲ではないことから、ご意見として承る。 既に平成28年度の検討から、園児数を増やす取組として、「3年保育の実施」と「預かり保育の充実」が提案され、順次実施されており、その上で、近年、急激に園児数が減少している状況を受け、本検討を行っているものである。 認定こども園化については、貴重なご意見として承る。

2 パブリックコメントの結果について

【主な意見等】

(3) 通園の負担増大と安全性に対する意見 (56件)

意見の概要 再編による通園の長距離化は、子どもの心身への負担、保護者の送迎負担（時間・労力・コスト）、交通量の多い道路での事故リスクなど、安全性に対する意見が挙がっている。

考え方の概要 通園距離については、今後、再編により通園距離が長くなる場合が想定されることから、32ページに記載のとおり、地域の実情に応じた通園支援の方法を検討することを求めている。

(4) 少人数教育の価値を軽視しているという意見 (47件)

意見の概要 再編理由とする「適正な集団規模の確保」という考えに対し、少人数だからこそ可能な、一人一人の個性や発達に合わせた手厚い教育の価値が全く評価されていないという意見が挙がっている。

考え方の概要 本来幼稚園は「集団生活を営む場所」であり、集団規模については、適正規模を「1学級の園児数が4歳児であれば20人以上、5歳児であれば25人以上、各学年の学級数は2学級以上」としたこれまでの大津市における検討結果を採用した。
適正規模については、4歳児及び5歳児それぞれで、どのようなことを経験してほしいか、そのためにはどれくらいの規模が望ましいか、という教育的観点から検討されたものである。
34ページに記載のとおり、園の体制や教師の指導・支援を工夫することで質の高い教育・保育を提供してきており、小規模の施設を否定するものではない。
また、29ページに記載のとおり、「同年齢の集団」と「異年齢の集団」とでは得られるものが異なる点を考慮した教育を展開することを求めている。

2 パブリックコメントの結果について

【主な意見等】

（５）地域コミュニティや地域文化との関りが無くなってしまうという意見 （８０件）

- | | |
|--------|---|
| 意見の概要 | 幼稚園が地域のお祭りへの参加や住民との交流、小学校との連携（幼小連携）など、地域コミュニティの核として果たしてきた重要な役割が、再編により失われるという意見が挙げられている。 |
| 考え方の概要 | 地域との繋がりについては、20ページに記載のとおり、これまでに再編を実施した園での取組を参考に、再編後も引き続き、ご協力をお願いしたいと考えている。
小学校1年生になるのは市立幼稚園の卒園生だけではないことから、架け橋プログラム等を通じて、全ての就学前施設に通う子ども達に質の高い教育・保育が提供できるよう努める必要があると求めている。 |

（６）計画プロセスの不透明さと対話不足に対する意見 （５９件）

- | | |
|--------|--|
| 意見の概要 | 保護者や地域住民への説明や対話が不十分なまま「再編ありき」で拙速に計画が進められており、丁寧な合意形成プロセスが必要であるという意見が挙げられている。 |
| 考え方の概要 | 関係機関や保護者、地域の方などの代表者で構成される検討委員会において、市全体の方向性として検討を行ったものである。
大津市では、20～21ページに記載のとおり、これまでから部分的に規模の適正化を行ってきたが、10ページに記載のとおり、近年、市立幼稚園の規模の縮小が急激に進んでいることを受けて、改めて全体最適の観点で検討を行った。
なお、54ページには、当事者である保護者への説明会などの機会を通じて、丁寧に進めていくことを求めている。 |

2 パブリックコメントの結果について

【主な意見等】

（７）特別な配慮を必要とする子どもに対する「セーフティネット」としての役割に関する意見 （２１件）

意見の概要	市立幼稚園が担ってきた、特別な配慮を必要とする子どもを積極的に受け入れる「セーフティネット」としての役割が、再編によって失われるという意見が挙げられている。
考え方の概要	特別な配慮を必要とする子どもに関しては、検討委員会でも、しっかり検討するよう提案をしている。 支援については、市立幼稚園だけでなく、全ての就学前施設で行う必要があるという意見も出されている。

（８）待機児童問題（全国ワースト）に対する意見 （２３件）

意見の概要	大津市が「待機児童数全国ワースト」という状況にありながら、公立の教育・保育施設である幼稚園を削減するのは政策として矛盾しており、理解に苦しむという意見が挙げられている。
考え方の概要	本検討は、待機児童対策とは異なるものである。 なお、待機児童の95%以上は0～2歳児となっており、幼稚園に通われている3歳児以上の待機児童は、ほとんど発生していない。

（９）再編を前提とした強引な人事異動に対する意見 （８件）

意見の概要	再編対象の園で、多くの教職員が一度に異動となり、これは子どもの心情を無視した再編強行のための地ならしではないかという意見が挙げられている。
考え方の概要	人事に関しては、当検討委員会では関与していない。

2 パブリックコメントの結果について

【主な意見等】

(10) 再編を容認する意見や迅速な実行を求める意見 (6件)

意見の概要	少子化や共働き世帯の増加といった社会情勢から再編の必要性を認め、その上で、基準を明確にし、迅速に計画を進めるべきだという意見や、通園バスの導入といった具体的な支援策を求める意見が挙がっている。
考え方の概要	検討委員会でも早急に進めるほうがよいのではと議論されたが、保護者等への説明に時間が必要なことから、原案のとおりとする。 通園バスの導入といった具体的な支援策については、貴重なご意見として承る。

(11) その他の意見 (58件)

意見の概要	説明会に関する意見 (資料がプリント1枚で分かりにくい、開催案内から日程が短すぎる、市の回答が「検討します」「配慮します」といった抽象的な表現に終始したことなど) 市立幼稚園の魅力や取組などを広く広報し、園児数の増加を図るべきであるという意見 (アピール不足など) 跡地利用に関する意見 統廃合後の園舎を、親子が安心して過ごせる子育て支援の拠点として有効活用してほしいという意見 市立幼稚園に留まらない、就学前教育・保育全般に対する意見 未就園児を持つ家庭や孤立しがちな保護者にとってセーフティーネットになっているという意見 幼稚園教諭の処遇問題に対する意見 小学校の再編検討に関する意見
考え方の概要	広報についての課題は、検討委員会でも意見が出されている。 跡地利用及び子育て支援全般については、ご意見として承る。 職員の処遇及び小学校に関することについては、当検討委員会では検討していない。

3 第8回大津市立幼稚園再編等検討委員会について

【結果報告】

【開催日時・場所】

6月4日(木)9時30分から11時40分まで 於)本館4階 第3委員会室

【議事要旨】

(1) 主な意見等は次のとおりです。

ア パブリックコメントの結果について

- ・これまでに議論してきた内容について、ご意見をいただいている印象である。
- ・認定こども園化など、大津市の就学前教育・保育のこれから先のビジョンがほしい。
- ・今回の検討は、集団規模の確保を第一にしているが、答申後は、他の要素も検討に加えるべきだと感じる。
- ・今後、計画を策定していく上では、地域の声を聴きながら、最終的に決定していただきたい。
- ・市立幼稚園の魅力をもっと上手にアピールしていく必要があると感じている。
- ・通園支援については、もっと具体的な内容に踏み込む必要があると感じる。
- ・効率化を目的とした検討ではないとの回答であるが、経済的な効率性も頭に置きながら、最善策を検討していくべきである。
- ・近い将来には、認定こども園を設置する必要があるという意見を付したいと考えている。
- ・在園児の保護者だけでなく、これから入園を検討される保護者に対しても丁寧に説明をしていただきたい。
- ・量の見込みと確保方策について、中学校ブロックで算出してもらいたい。
- ・再編の方向性に記載がある「5年後」及び「10年後」という表記は、「5年以内」及び「10年以内」という表記に改め、現状にあわせて進めていくという意味になるように修正したほうが良い。

イ 答申について

- ・認定こども園化についての付帯意見を付したい。
- ・幼稚園教諭及び保育士が、共に質の高い幼児教育を実践できる環境を整備していくことといった旨を追記してほしい。

4 答申について

【日時】

令和8年 6月25日（木） 14時30分から15時00分まで

大津市立幼稚園再編等検討委員会委員長、副委員長から市長、教育委員会に対して
【資料6】「大津市立幼稚園の再編等について～より良い教育環境の提供に向けて～」を答申された。

付帯意見として、

「市立幼稚園の再編と並行し、市立幼稚園と市立保育園の再編による大津市立幼保連携型認定こども園への移行を積極的に検討すること。認定こども園化の推進にあたっては、幼稚園教諭と保育士がそれぞれの専門性を尊重し、これまで培ってきた教育・保育の知見を融合・進化させ、両者が密接に連携・協力しながら、質の高い教育・保育を共に実践できる環境を整備していくこと。」

という内容が付された。

5 今後のスケジュールについて

今後は、答申及び付帯意見の内容を踏まえて、
計画策定に向けて、市として検討を進めていくことになる。

具体的なスケジュールについては、現在調整中である。

なお、計画策定にあたっては、本児童福祉専門分科会でご意見を頂戴したい。